

ジェラルール・ベンスーサン

『メシア的時間』翻訳出版記念講演会

司会：藤岡俊博

1) 渡名喜庸哲「ジェラルール・ベンスーサン『メシア的時間』の意義」

13:00-13:30

2) ジェラルール・ベンスーサン講演「メシアニズムと世俗化」

13:30-15:00

3) ターブル・ロンド＋質疑応答

ジェラルール・ベンスーサン、フランソワ＝ダヴィッド・セバー、合田正人、平石晃樹、渡名喜庸哲

15:15-17:00

場所：同志社大学今出川キャンパス
明德館M1教室

使用言語：フランス語＋日本語（一部通訳あり）

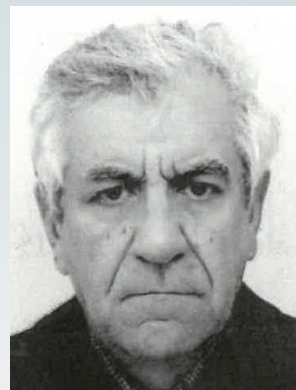
※どなたでも参加できます（事前参加予約不要）

講師紹介

G rard Bensussan (ジェラルール・ベンスーサン)

(Professeur Em rite, Universit  de Strasbourg)

ストラスブール大学名誉教授



【略歴】

1997年：フランス国立科学研究センター研究長

2001年：ストラスブール大学哲学科教授

2005年以降：レバノン、チリ、ブラジル、イスラエルなどで客員教授

2017年：ストラスブール大学名誉教授

【主要著書】

『二つのモラル』、『シェリングの遺産』（共著）2015、『倫理の曖昧さ』（共著）2011、『諸言語の焦燥』（共著）2010、『世界の形の中で－フランツローゼンツヴァイクについて』2009、『倫理と経験－政治家レヴィナス』2008、『メシア的時間』2001（法政大学出版局、2018）、他多数

お問い合わせ

合田正人（mg1957@meiji.ac.jp）

京都ユダヤ思想学会事務局（hebraicaveritas@gmail.com）